

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 老人憩の家整備事業
-------------------	------------------------

区分	番号	名 称
章	1	やさしさと共生するまち
節	3	誰もが安心して暮らせるまちをつくる
施策	2	高齢者福祉の確立
小分類	1	長寿社会の基盤づくり
主要な施策	1	高齢者の生きがいづくりの場と機会の充実
事務事業番号	010	事務事業コード 13211010 事業開始年度 平成 8 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	老人憩の家整備事業
------	------	------------	-----------

部 名	保健福祉部	グループ名	社会福祉 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> <p>各地域において町内会等が指定管理者として管理運営を行っている「老人憩の家」を利用する市民が快適に安心して利用することができる様大規模な改修を市の予算で行う。</p>
手段（事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffffcc;">（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> <p>「老人憩の家」を適切に維持管理するため、老朽化が進み改修等が必要な施設については、指定管理者からの要望に基づき緊急度等を勘案し、事業予算の範囲内で改修等が」必要な施設を選定し、当該施設の指定管理者に整備を委託する。</p> <p>例年、10施設前後の整備を行っている。                  主な整備内容                  ・屋根の葺き替え及び塗装、外壁・窓枠の改修                  ・床・天井の改修、内部補修                  ・その他管理上必要な補修等</p>
成果	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> <p>「老人憩の家」を老人クラブや町内会等が快適に安心して利用できる施設として維持管理し、もって高齢者や地域住民の福祉の充実に資する。</p>
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p> <p>登別市老人憩の家条例、登別市老人憩の家管理規則、市有集会施設整備要領</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	整備委託施設数	箇所	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	10	/	/	/	/
			目標値		/	/	/	/
			実績値		/	/	/	/

## 事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	7,946	11,000	11,000	11,000	11,000	33,000
合 計			7,946	11,000	11,000	11,000	11,000	33,000
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	710	729			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		710	729			

## 担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 市の公共施設であり、適切な維持管理のため妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 安全で快適な施設の利用が図られる。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 施設が整備されることにより、高齢者や地域住民の福祉の充実に図ることができる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 毎年度、一定額の事業の中で、緊急度等を勘案し要望に対応しているが、事業費を大きく上回る要望があり、本年度から予算増額で対応しており削減はできない。

## 担当グループによる評価

<b>維 持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	老人憩の家については、公共施設の整備方針に基づいて整備を行うことが基本と考えており、本事業の実施に当たっては、少なくとも、今後10年程度は既存施設の活用を図ることとし補修を行っている。これとは別に下水道整備に併せて水洗化工事も計画的に行ってきている。将来的には、地域の実情に応じて中規模施設の整備などにより既存施設は整理していく必要があるが、それまでは、既存施設を有効に活用していきたい。なお、施設の一元管理については今後検討したい。
------------	----------------------	---

## 総合的な評価（当該事務事業の方向性）

<b>改 善</b>	備考	施設の一元管理について、関係部署等と協議を進めること。
------------	----	-----------------------------

### 評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）